日本工営株式会社

防災プラットフォーム“防すけ”

浸水情報をリアルタイム発信、クラウド連携も可能



ハザード

Flood

対策目的

Prevention & Mitigation Preparedness Response Recovery

対策分類

Research & Investigation Risk Assessment Infrastructure Technology

技術分類

Site Investigation Technical Research & Development Hazard Identification Risk Monitoring River & Basin Dam & Reservoir Coast Sabo

ソリューションの特長

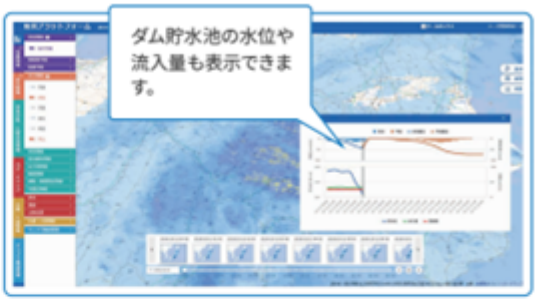
気象・水文情報、洪水氾濫・土砂災害情報、生活基盤情報等の情報をリアルタイムに収集・解析し、地図上に集約・表示します。
既存の防災システムやお客様が保有する様々なクラウドとの相互連携により、低コストで新機能を追加するなど顧客ニーズに対応します。また、日本工営が保有する高度な解析・予測技術を提供し、地域の安全・安心に繋がる災害対応・避難行動・防災行動を支援します。

ソリューションの図解

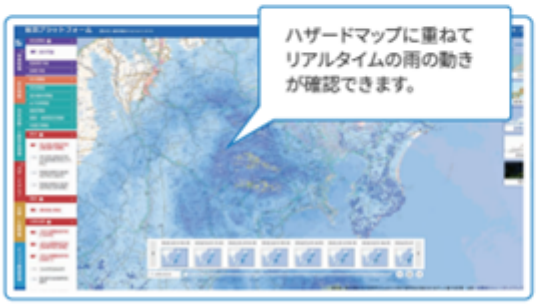
＜この文書は www.bosai-jp.org からダウンロードされました＞



リアルタイム氾濫解析結果と浸水センサー情報（追加機能）を表示



河川やダム等の諸量を雨の動きを見ながら確認



全国の様々なハザードマップと雨の状態を同時に表示



【2画面表示】

ソリューションの背景

近年、各種観測・予測技術の進展により、精緻な災害・防災情報を入手できるようになりました。一方で防災担当者は、それら多種多様なデータを統合する環境がない中で、異なる情報ソースに頻繁にアクセスし、迅速な評価・判断を要求されています。

本プラットフォームは、今まで個別に存在していた複数の情報を一元的に画面上に集約・表示し、災害・防災対応を行うために必要な情報をリアルタイムで提供が可能で、クラウドデータ連携にも対応が可能です。日本工営の持つ解析技術を応用した浸水リスク情報と衛星防災情報サービスを融合させ、災害時における的確な防災対応情報を提供します。

日本工営は、本プラットフォーム提供を通じて防災・減災面での顧客のデジタル化を支援し、地域のレジリエンス強化に貢献したいと考えています。

ソリューションの詳解

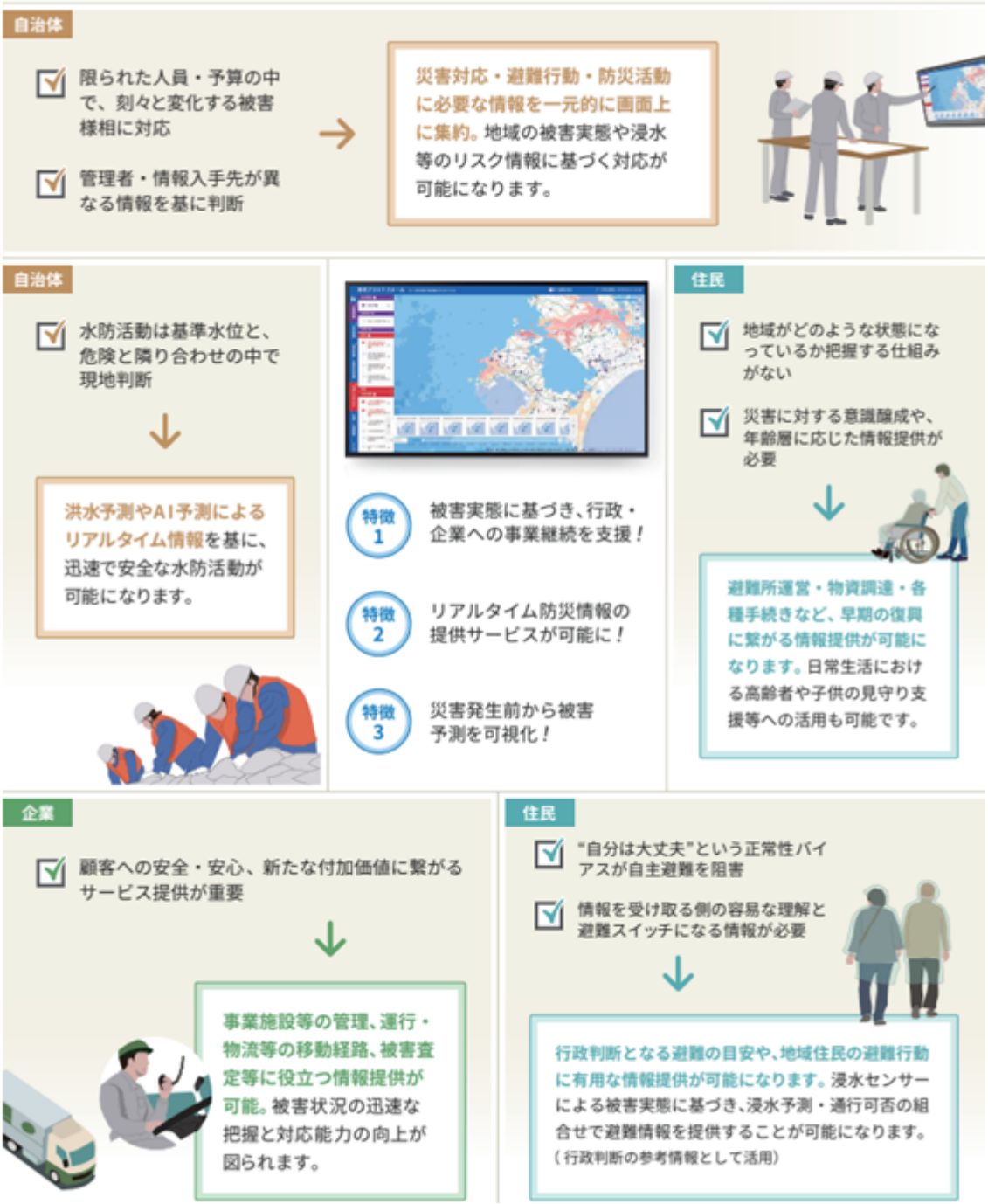
標準機能として、雨量や河川・地形等のデータを基に、リアルタイムで解析した水位・流量・氾濫予測情報を提供します。追加機能としては、衛星、SNS、さらにはセンサーによる懸案箇所の浸水状態把握に関連した情報を追加するなど、顧客ニーズに応じてカスタマイズが可能です。



※1 土木研究所開発の降雨流出氾濫モデル　※2 気象庁や国交省の配信データ取得

ソリューションの実績や適用例

日本工営の持つ解析・予測技術によってリアルタイムに情報を発信。
様々な課題解決を支援します。



その他の参考資料

防災情報と解析・予測データを提供するプラットフォーム開発 | 技術一覧 | DX | 日本工営株式会社 (n-koei.co.jp)

企業情報

日本工営 株式会社

〒102-8539 東京都千代田区麹町5-4

＜この文書は www.bosai-jp.org からダウンロードされました ＞

Tel. : 03-5276-3596

E-mail : int.a@gx.n-koei.co.jp

Website : http://www.n-koei.co.jp

＜この文書は www.bosai-jp.org からダウンロードされました ＞